

Q.応募のきっかけは？

趣味で絵を描くことが好きで、自己満足で終わらせていましたが、広報誌で題字デザイン募集の企画を見つけた妻から強く勧められ、応募する運びとなりました。

Q.デザインのポイントを教えてください

八重瀬町に関連する歴史や行事、特産品を躍動感いっぱいデザインしました。

「Y」→港川人と特産品の紅芋

「A」→歴史深い豊年祭の獅子加那志

「E」→八重瀬町の町魚・トビウオ

「S」→八重瀬桜まつりでライトアップされた桜と行灯。八重瀬公園から見下ろす八重瀬の町の光。

「E」→エイサーで有名な八重瀬。2年前に解散した富盛エイサーをいつまでも忘れないように女性踊りの衣装をデザインしました。

Q.読者へ一言お願いします

八重瀬町にちなんだデザインで一目見て分かるように工夫したので、八重瀬町には素晴らしい文化・伝統が残っているんだなということを改めて知ることができればいいなと思います。

インタビュー

広報やえせ4月号より
新しい題字デザインに変わりました。
一般投票で選ばれた宮城さんへ
お話を伺いました。

みやぎ たつろう

宮城 龍郎さん(字東風平)



やえせの昔話 ④

天女と羽衣

字宣次 出身

【話者】大正5年生 男性
西原町我謝の集落にユブシガーという井戸がありまして、四年に一回、八月に拝みに行つていますがね。このユブシガーにこんなチテーバナシ(伝え話)がありますよ。

天から降りてきた美しい女がね、ユブシガーで水浴びをしていたそう。そこに幸地又比屋(コウチヌヒヤ)という名の男が通つた。水浴びをしている天女があまりにも美しかったので、幸地又比屋は松の枝に掛けてあった天女の羽衣を隠すことにした。

水浴びを終えて、天女が着替えるようにと羽衣を探すが、どこにもそれは見当たらない。羽衣が無ければ天へは二度と戻れない。どうしたらいいものかと天女は大変困り果て泣いていると、松の木の陰から幸地又比屋が現れた。泣いている天女に声を掛けると、幸地又比屋は自分の着物を

天女に着せて、家に連れて帰つた。天女は天にも戻れないので、幸地又比屋と一緒に暮らすことにした。一緒に暮らすうちに夫婦になり、子どもを二人もうけた。それから月日が経ち、ある日のこと。上の子が泣いている兄弟に子守り唄を聴かせていた。天女がその唄を聴いていると、「羽衣がどこそこ隠されているよ」と唄っているではないか。慌てて、その場所を探しに行くと、羽衣は確かにそこにあった。

天女は見つけた羽衣を身にまとつと、子どもを両脇に抱えて、幸地又比屋を残し天へ昇つていったそう。

今回、掲載した昔話は昭和57年～59年に八重瀬町内各字の皆様のご協力を得て収集した昔話の内の一話です。令和5年度より「八重瀬町伝承話資料保存継承事業」が始まり、この事業の一環で話者のご家族にその当時収集した昔話について、使用許諾を得られた話を紹介しています。

ホームページでもたくさんの昔話を紹介しているので、ぜひアクセスして他の昔話もご覧ください。



資料館
ホームページ



《 お問い合わせ | 社会教育課 文化班 | 098-835-7500 》

令和7年度

給付型奨学金(謝花昇奨学金)募集要項

《 返済不要な奨学金です 》

1 目的

八重瀬町教育委員会では、修学の意欲と優れた能力を有し、経済的に余裕がない家庭の学生に対して、謝花昇奨学金(以下、奨学金)を給付し、本町における優秀な人材を育成することを目的とする。

2 募集期間等

募集期間

令和7年5月1日(木)～7月31日(木)
※土・日、国民の祝日は除きます。

給付の金額及び募集人員

奨学金の金額は、月額15,000円(年額180,000円)、募集人員は若干名とする。

提出先

〒901-0492 八重瀬町字東風平1188番地
八重瀬町役場3階
八重瀬町教育委員会 学校教育課 教育総務班
(八重瀬町育英会事務局)
連絡先 098-998-7571

3 給付対象者

令和7年度入学 沖縄県内・外の高等学校及び私立高等学校、国立高等専門学校生

※令和7年度高等学校等の1年生に限る

4 資格要件

- (1) 八重瀬町に1年以上引き続き住所を有している者。(学業のための住所変更は問わない)
- (2) 中学校3年までの平均評定が4.9以上であること。
- (3) 令和8年度・9年度に継続して奨学金を申請するには、高等学校及び国立高等専門学校の成績評定が4.5以上の者とする。4.5に満たなかった場合、給付は打ち切りとなる。
- (4) 生計維持者(原則として父母)の世帯年収が560万円未満であること。
- (5) 町民税等の滞納がないこと。

8 奨学金の提出書類(各1通)

提出書類	発行先
① 「謝花昇奨学金」申請書	学校教育課(3F)
② 住民票謄本(本籍記載あり) ※本人が就学のため保護者の住民票から転出している場合や、保護者が単身赴任等により住所を別にしている場合は、その居住先の住民票抄本(本籍記載あり)も必要となります。	住民環境課(1F)
③ 所得証明書 ※令和6年度(令和5年度分) 生計維持者の所得証明書が必要になります。	税務課(1F)
④ 完納証明書(町税) ※年度指定なし、生計維持者のみ	税務課(1F)
⑤ 完納証明者(健康保険税) ※年度指定なし、生計維持者のみ ※生計維持者が社会保険加入者の場合は、社会保険証の写しを提出してください。	健康保険課(1F)
⑥ 在学証明書等(合格したことが分かる証明書)	高等学校等
⑦ 成績証明書(中学校内申書1学年～3学年の全学年対象)	中学校



謝花昇
1865～1908



第1回県費留学生 1882(明治15)年
選抜された5人の学生が東京の学校へ進学した。謝花昇以外は琉球王国時代の支配層出身(右から2人目が謝花昇)だった。

5 奨学金の選考

一次審査(書類審査)及び二次審査(小論文・面接等)を実施し、八重瀬町謝花昇奨学金審査会の選考審査を経て決定する。

- (1) 一次審査…世帯状況の確認、本人の成績(内申書)、その他書類審査。
- (2) 二次審査…小論文(800文字程度)・面接等。
※小論文のテーマは二次審査当日に発表する。
- (3) 選考結果は直接本人へ通知する。

6 奨学金の実施スケジュール

- (1) 募集期間…令和7年5月1日(木)～7月31日(木)
- (2) 選考…令和7年8月中旬
- (3) 決定通知…令和7年9月
- (4) 給付…決定通知後、速やかに給付(4月～3月分までの1年分を一括して給付)

7 給付期間

令和7年4月から対象となる学校の標準修業年限の終期まで給付する。

ただし、毎年1回、学業について審査し、奨学金継続の可否を認定する。

成績評定が4.5に満たなかった場合、給付は打ち切りとなる。